

汎用JPドメイン名の現状

2001.5.24

堀田 博文

hotta@jprs.jp

JPRS (株式会社日本レジストリサービス)

汎用JPドメイン名の特徴

登録資格要件

- 既存の JP ドメイン名
 - CQ NE など、登録者の組織種別を区別
 - 個人による登録は不可能（地域型を除く）
- 汎用 JP ドメイン名
 - 登録者の組織種別を区別しない
 - 個人による登録も可能

登録数の制限の撤廃

- 既存の JP ドメイン名
 - 1組織1ドメイン名の原則
 - 将来のユーザへのドメイン名空間確保
 - サイバースクワッティングの防止
- 汎用 JP ドメイン名
 - 登録数の制限なし
 - ユーザの増加
 - 複数登録のニーズに応える
 - サイバースクワッティング等の紛争は事前登録、DRPにより解決

汎用JPドメイン名サービス開始からこれまで

優先登録申請

- 2001.2.22 ~ 2001.3.23
- 第1区分
 - 既存JPドメイン名と同じ文字列
- 第2区分
 - 登録商標、登記された名称(商号等)、個人名、ac.jpドメイン名の登録組織名

同時登録申請

- 2001.4.2 ~ 2001.4.23
- 第3区分
 - 登録資格制限なし
 - 当該期間に出された申請は同時とみなし、抽選を行う

先願登録申請

- 2001.5.7 ~

申請数(優先登録申請)

分類		ASCII	日本語	計
第1区分		34,700	0	34,700
第2区分	商標	8,300	11,900	20,100
	商号	0	12,400	12,400
	個人名	200	600	800
	ac.jp	0	400	400
計		43,200	25,400	68,500

注) 数値は 10の位を四捨五入

重複のあった申請数(優先登録申請)

分類		ASCII	日本語	計	
申請数	第1区分	4,000	0	4,000	
	第2区分	商標	2,100	2,900	5,000
		商号	0	600	600
		個人名	90	10	100
		ac.jp	0	1	1
	計	6,200	3,500	9,700	
ドメイン種類数 計		2,500	800	3,300	

注) 数値は、10の位を四捨五入(ただし、個人名は1の位を四捨五入
ac.jpはそのままの値)

重複のなかった申請数(優先登録申請)

分類		ASCII	日本語	計
第1区分		30,700	0	30,700
第2区分	商標	6,200	8,900	15,100
	商号	0	11,800	11,800
	個人名	60	640	700
	ac.jp	0	400	400
計		36,900	21,800	58,800

注) 数値は、10の位を四捨五入(ただし、個人名は1の位を四捨五入)

登録数(優先登録申請)

分類	ASCII	日本語	計
重複申請あり	2,500	800	3,300
重複申請なし	36,900	21,800	58,800
計	39,500	22,600	62,100

注) 数値は、10の位を四捨五入

優先登録関連プレスリリース(2001年4月9日)

汎用JPドメイン名が商号、商標へと広がる

汎用JPドメイン名の優先登録申請数は約7万件に達しました。このうち半数はこれまでにCO.JPなどに登録されていなかった商号、商標を新たに登録申請したものでした。さらにこの中で日本語のものは約2万4千件であり、店名や商品名、サービス名そのものをインターネットのドメイン名としてなじみの深いものにしていこうという傾向が顕著に現れています。

東証一部上場企業のうち約8割が登録申請を行っていることから、「.JP」で日本を表現でき、「会社名.JP」のように短く覚えやすい、という特長のある汎用JPドメイン名を使うことが、日本における企業活動にとって重要であるという認識を、各社に持って頂いていると見ています。

申請数と登録数(同時登録申請)

分類		ASCII	日本語	計
申請数	重複あり	32,500	41,700	74,200
	重複なし	22,600	23,400	46,000
	計	55,100	65,200	120,300
ドメイン数	重複あり	4,600	5,200	9,800
	重複なし	22,600	23,400	46,000
	計	27,200	28,600	55,800

注) 数値は 10の位を四捨五入

同時申請関連プレスリリース(2001年4月26日)

汎用JPドメイン名申請の5割強が競合

申請された数は約12万件、うち、複数の方の申し込みが競合した申請は約6万4千件ありました。10倍以上の競争率となったドメイン名も2000件強あり、人気のあるドメイン名への競合が大きいことが伺えます。また、申請のうち日本語ドメイン名は約6万5千件あり、優先登録申請時と同様、店名や商品名、サービス名そのものをインターネットのドメイン名にしたいという傾向が現れました。

登録数(2001.5.22時点)

分類	ASCII	日本語	計
優先登録申請 2001.2.22 ~ 2001.3.23	39,500	22,600	62,100
同時登録申請 2001.4.2 ~ 2001.4.23	27,200	28,600	55,800
先願登録申請 2001.5.7 ~ 2001.5.22	17,000	5,000	22,100
総登録数	83,700	56,200	140,000
参考) 既存ドメイン名 ~ 2001.5.1	255,000	0	255,000

注) 数値は 10の位を四捨五入

先願申請関連プレスリリース(2001年5月10日)

汎用JPドメイン名登録申請：先願登録申請が1万件を突破

JPRSは、2001年5月7日正午から、先に申し込んだ方がドメイン名を登録できる先願登録申請の受付を開始しました。この結果、5月8日に1万件を突破、うち、日本語ドメイン名は約2.3割の申請がありました。

JP-DRP

これまで、汎用ドメイン名に関する適用は無し

	手続開始日	ドメイン名	裁定	結果
1	2000.11.13	AXIS.CO.JP	取下げ	当事者合意により移転
2	2000.11.24	GOO.CO.JP	移転	出訴により裁定結果実施見送りに中
3	2001.01.04	YUZAWAYA.CO.JP	取下げ	当事者合意により移転
4	2001.01.15	ITOYOKADO.CO.JP	移転	裁定結果実施
5	2001.01.25	SONYBANK.CO.JP	移転	出訴により裁定結果実施見送りに中
6	2001.02.01	ICOM.NE.JP	移転	裁定結果実施
7	2001.02.08	REDHAT.CO.JP	取下げ	当事者合意により移転
8	2001.03.16	MP3.CO.JP	係属中	
9	2001.04.04	RCC.CO.JP	係属中	
10	2001.04.06	SUNKIST.CO.JP	係属中	

JPRSの業務

現在

- 既存ドメイン名登録管理業務
 - 業務委託
- 汎用ドメイン名登録管理業務
 - 業務代行

今後

- 諮問委員会の設置
 - 目的：公平性および中立性のチェック
 - 構成員：ドメイン名に関連する各分野から
 - ご意見募集
 - JPNICからご意見募集
 - 2001.5.23 ~ 6.22
- ICANNとの契約
- JPドメイン名全般の登録管理業務
 - JPNICからJPRSに移管

多言語ドメイン名関連の活動

標準化活動

- JPNIC
 - IETFのIDN WGにInternet Draft提出
 - 会合ごとに平均2件程度の発表を実施

国際調整活動

- JPNIC, JPRS
 - ICANN、MINC等での議論に参加

国内展開活動

- JPNIC
 - 実験用テストベッドを公開 (2000.10)
- JPRS
 - 「日本語.jp」の登録を受付 (2001.2開始)
- JPNIC, JPRS
 - 登録された汎用JPドメイン名を用いることのできる実験環境を公開 (2001.5)
 - Networld+Interop (2001.6.6-8 幕張) にて上記実験環境のデモ+体験コーナー

多言語ドメインネームに関する主な取り組み

標準化活動

国内展開活動

JPNIC

- 実験用テストベッドを公開 (2000.10)

JPRS

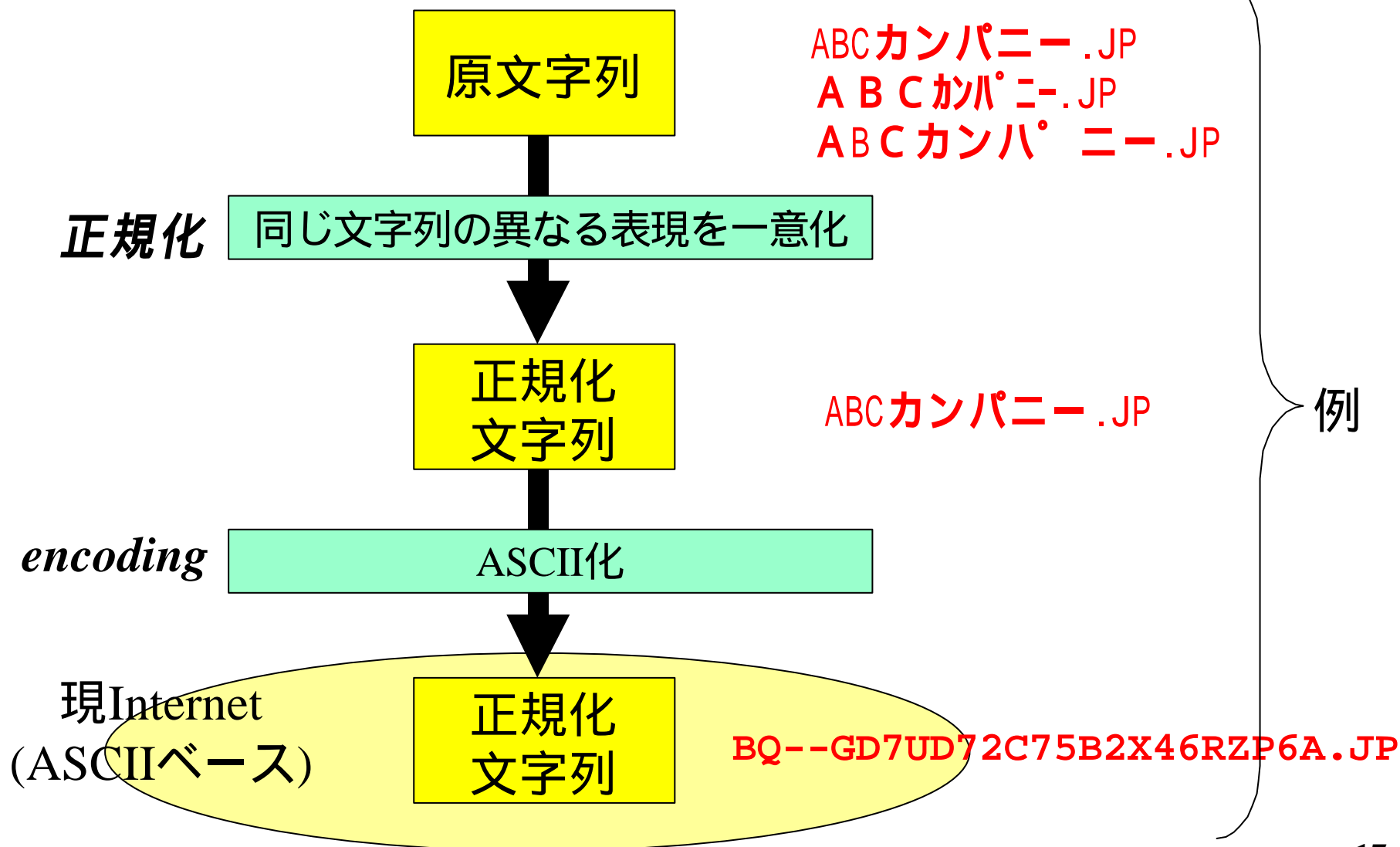
- 「日本語.jp」の登録を受付 (2001.2開始)

JPNIC+JPRS

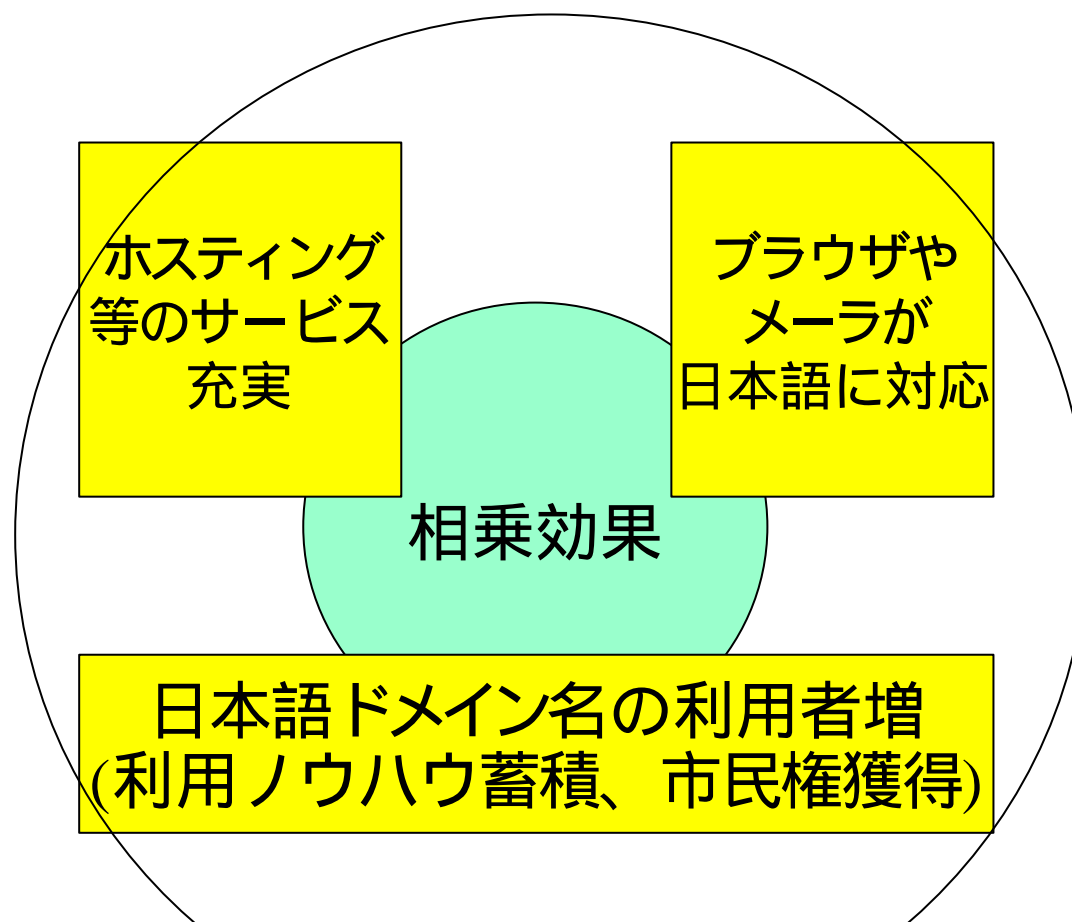
- 登録された汎用JPドメイン名を用いることのできる実験環境を公開 (2001.5)
- Networld+Interop (2001.6.6-8 幕張) にて上記実験環境のデモ+体験コーナ

多言語ドメインネームの有力な方式

2001年12月RFC化が目標



日本語ドメイン名の展開にあたって



日本語ドメイン名が動作する仕掛け
技術開発、技術標準化、技術コーディネーション